

# 保健体育科学学習指導案

令和元年6月5日 第4校時

6年 組(男子13名、女子15名)

1. 単元 病気の予防

2. 単元(題材)について

- (1) 単元(題材)の目標 病気の発生要因や予防の方法について理解できるようにする。
- (2) 指導計画(全4時間、本時は2時間目) ※1学期は前半の4時間分のみの学習のため

| 過程                  | 主な学習活動   | 単元構想の意図、指導方針等  |
|---------------------|--|--|
| つ<br>か<br>む<br>(1)  | <p><b>☆病気の起こり方</b></p> <p>病気の起こり方について経験と結びつけ理解し、抵抗力(体を守ったり治したりする力)があることを知る。</p>  | <p>本単元では、病気の予防について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育て、自分の健康は自分で守り、健康によい生活行動を自ら実践していける力を身に付けることができるようにしたい。</p>   |
| 追<br>究<br>(1)<br>本時 | <p><b>☆病原体と病気</b></p> <p>インフルエンザと食中毒をもとに、病気が起こる原因や予防方法について考える。</p>   | <p>&lt;つかむ過程&gt; 病気は、病原体・環境・生活行動・体の抵抗力などが関わり合って起こることを経験と結びつけて理解できるようにする。病気は、感染症(病原体がもとになって起こる病気)生活習慣病(生活の仕方が関係する病気)環境が主に関係する病気に分けられるが、主に最初の2つを取り上げる。</p>   |
| ま<br>と<br>め<br>(2)  | <p><b>☆生活のしかたと病気の予防①</b></p> <p>生活習慣病の種類を知り、生活行動の在り方に原因があることを理解する。</p> <p>生活習慣病を予防するための方法を考え、自分の生活を見直す。</p> <p><b>☆生活のしかたと病気の予防②</b></p> <p>むし歯や歯周病の起こり方や予防方法が分かる。</p> <p>生活習慣病を予防するための方法を考え、自分自身の生活を改善できるようにする。</p> | <p>&lt;追求する過程&gt; 病原体による病気の中で、児童に関係が深いと考えられる、インフルエンザと食中毒について扱い、感染経路について学びながら、科学的な思考を身に付けさせるために、病気の起こり方の流れに着目させて、予防対策を考えさせるようにしたい。</p> <p>&lt;まとめる過程&gt; 生活の仕方と大きく関わり合いがある病気では、漠然とした思考にならないようにするために、児童にとってとても身近なむし歯(病原体が関係するもの)と、心臓病・脳卒中(病原体が関係しないもの)両者を取り扱い、誰が・いつなっても不思議でない病気であることを自覚させたい。</p> |

3. 本時の学習

(1) 本時の目標

資料や自分たちの生活経験をもとに話し合いながら、病原体がもとになって起こる病気の予防方法について知り、自分たちが実践できる予防方法を考えることができる。(思考・判断)

(2) 準備 教師：ワークシート、掲示資料、指令書 児童：教科書

(3) 展開

| 過程 | 主な学習活動   | 指導上の留意点及び支援  |
|----|--|--|
|    | <p>1. 前時の振り返り</p> <p>Q. 病気の起こる4つの要因は何でしょう。</p> | <p>・前時に出された病気リストを掲示しながら、</p> <p>病気は、病原体、環境、生活の仕方、体の抵抗力</p> |

|                              |   |   |
|------------------------------|---|---|
| つ<br>か<br>む<br>5分            | 2. 本時のめあてを知る。<br><br>*病原体がもとになって起こる病気の予防方法について知り、<br>自分たちの生活に合った予防方法を考えてみよう。  | などが大きく関わりあって起こることをしっかり<br>押さえる。   |
| 追<br>求<br>す<br>る<br>3分<br>2分 | 3. 病気の予防方法について、課題（指令書）<br>を通して考える。<br>①（全員で）現状の確認<br>②地域の人を病気から守るために、現状以外<br>で知りたいことは？<br>③病気はどのようにして体内に入ってくる<br>の？<br>④病気になる人とならない人いるのはなぜ？<br>⑤では、どんなことをすれば私たちは、病気<br>にならないの？<br>病原体を発生させない<br>病原体が体内に入らない<br>抵抗力を高める } →免疫戦士<br><br>☆免疫戦士が活躍するために必要な5箇条<br>食事・運動・睡眠・明るい気持ち・予防接種<br><br>4. グループの学習結果を報告する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・①は教師主導で現状を確認する。</li> <li>・②は時間を設定し質問を考えさせる。<br/>→その後、各班毎に質問させ、全体で情報の共有化を図る。</li> <li>・③考えが浮かばない班には、ヒントカードを渡す。（インフルエンザはどうやってうつるの？<br/>【咳やくしゃみ】<br/>食中毒はどうしてなるの？【傷んだものを食べる】</li> <li>・④で、インフルエンザに感染した友達とそうでない友達の違いに着目させる。（出てこない場合は、担任の話聞かせる。）</li> <li>・⑤前時の4つの要因を想起させる。<b>真ん中に何があるの？&lt;抵抗力&gt;</b></li> <li>・必要に応じて抵抗力ヒントカード（前時の学習）を渡す。</li> <li>・免疫力を高めるための、具体的な取り組みを考えさせる。</li> <li>・自分たちと異なる考えが出たらメモするように促す。できた児童を賞賛。</li> </ul> |
| ま<br>と<br>め<br>る<br>8分       | 5. 振り返りカードに本時の振り返りを記入する。<br><br>*早く終わった児童は、発表をする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードには、今日の学習でどんな予防方法なら自分でも取り組めると考えたか、また、その根拠について書くように指示する。</li> <li>・合図の合った児童2～3名指名する。</li> <li>・本時の頑張りを賞賛しながら、次時の予告をし、終わりのあいさつをする。</li> </ul>   |

**【評価項目】**

- おおむね満足…資料や自分たちの生活経験をもとに話し合いながら、病原体がもとになって起こる病気の予防方法がわかり、自分たちが実践できる予防方法を考えることができる。
- ◎十分満足・・・資料や自分たちの生活経験をもとに話し合いながら、病原体がもとになって起こる病気の予防方法がわかり、自分たちが実践できる予防方法を考えたりその考えについての理由（根拠）を明らかにすることができる。（思考・判断：観察・ワークシート）